

相談事例

編集・発行

MBK Wellness 株式会社
(旧株式会社保健同人フロンティア)
ヒューマン・フロンティア相談室
〒107-0062
港区南青山 1-3-3 青山一丁目タワー4 階
TEL.03-6747-6250(代表)

カウンセリングのご予約はこちらへ

ナヤミ ナシヨ

0120-783-744

受付日時: 月曜～金曜 10:00～20:00
(祝日除く) 土曜 10:00～18:00



E-mail :

sodan@humanfrontier.co.jp

※受信後、2営業日以内にお返事いたします。

ご契約企業の皆様

今年は春先から猛暑が続き、皆さんの心身の疲労は限界を超えているのではないのでしょうか。10月に入り秋の気配に癒されたいものですね。

先日、孫の運動会を参観する機会がありました。保育士の先生方は、しゃがんで子供たちと同じ目線になり声を掛け、手を引いて入場行進の準備をしています。子供たちに威圧感を感じさせることを避けるため、意識的にしゃがんで子供たちと同じ目線になり接しているのです。子供たちにとって安心安全が保たれている様子を見てホッとしました。

これは、カウンセリングにおける関係性にも通じるものがあると感じました。

相談者は「話を聴いてもらう立場」、カウンセラーは「支援する立場」ではありますが、同じ目線に立ち、相談者の体験を共有しながら、共に解決策を考えていく姿勢が大切だと改めて実感しました。

大人でも同じ目線で聴いてもらえる場所は少ないものです。お困りのことがありましたら、お気軽に相談室へご連絡ください。

※何を相談したらいいかわからない方も多いと思います。そこで、**いくつかの事例を合わせた典型例**をご案内いたします。ここでご紹介するものは、複数のクライアントのカウンセリングを基に、合成して典型事例としてご紹介するもので、決して特定の個人のカウンセリング記録ではありません。



©2016, 2025 MBK Wellness CO.,LTD

パワハラといわれ、深く落ち込む B さん

相談者: B さん 40 代 男性

地域の工場長として長年実績を重ねてきた B さんは、客先から指名を受けるほど評価が高く、社内でも信頼されている存在でした。そんな B さんに対し、中堅社員 C さんから「パワハラを受けた」との通報が社内ハラスメント相談窓口に寄せられました。社内での聞き取り調査の結果、パワハラ認定はされなかったものの B さんは深く落ち込み、覇気を失っている様子が見られたため、周囲からの勧めでカウンセリングを申し込まれました。

面談初期

初回面談に訪れた B さんは、かつての活力ある姿からは想像できないほど沈んだ表情で、ハラスメント扱いをされたことを受け入れられずに、苦悩している様子でした。会社業績に貢献してきた自負があるからこそ、今回の事態に強いショックを受けているようでした。カウンセラーはまず、B さんの視点から当時の状況を丁寧に聞き取ることから始めました。

B さんは、作業員の安全確保を最優先に、客先の品質・納期要求に応えるため日々業務に取り組んでいたと語りました。ある検査準備の場面で、対応が不十分な作業員に対し、会議の場で厳しい口調で注意を行い、その後も改善が見られなかったため、やる気がないなら退職しろと言ってしまいました。しかし、話を聞く中で、B さんが工場長としての責任感から真摯に対応していたことがうかがえました。

Bさんに、どのような言動がパワハラと指摘されたのかを確認したところ、以下の点が挙げられました。

- ・会議の場で、皆の前で注意をしたこと。
- ・Cさんの報告書に対し、書き直しを指示したこと。
- ・改善の余地がないと判断し、退職を促す発言をしてしまったこと。

更にお聞きすると、当時の工場は工期遅れを取り戻すため昼夜2交代制で稼働しており、Bさん自身も常に緊張感を持って業務にあたっていたとのこと。そうした中で、Cさんに対し怒りが爆発して強めの口調になってしまった背景が明らかになりました。

ただし、他の従業員からは、Cさんの仕事への姿勢が目に残るものだったことや、売り言葉に買い言葉だったこと、注意を受けるのは当然だったという意見が圧倒的で、Bさんは本社から厳重注意を受けましたが、ハラスメント認定はされなかったとのこと。

Bさんは、これらの言動がCさんの成長や現場の品質維持のためであったと説明しましたが、結果としてCさんには精神的な負担を与えてしまったことを悔やんでいました。

その後も面談を重ねる中で、イライラした際の感情の扱い方や対処法、相手も自分も傷つけずに気持ちを伝えるアサーティブな表現についても練習していきました。

その後、Bさんから「Cさんと改めて話す機会を持ちたい」との申し出をして、数日後には謝罪の場が設けられました。言いたいことは当然ありましたが、感情に任せるのではなく、Cさんの気持ちを聴くことを優先し、十分聴いた後に傷つけてしまったことを謝罪しました。Cさんからも当時はプライドを傷つけられたと誤解していたことと、仕事の取り組み方が悪かったと反省の言葉があり、双方の理解が深まったとの報告を受けました。

会社からは、Bさんは今後も工場長として必要な存在であることが丁寧に伝えられ、Bさんも今回の出来事を真摯に受け止め、今後の業務に前向きに取り組む意向を示し、面談は終了となりました。

利用方法

CASE 1 メール相談

メールに、下記項目の①～②およびご相談内容をご連絡ください。専用 WEB サイトもご利用いただくことができます。

CASE 2 電話相談

すぐにご相談いただくことができます。

※混雑状況などにより、すぐに対応できない場合がございます。

この場合は、ご都合をお伺いし、カウンセラーよりお電話させていただきます。

CASE 3 面談

まずは電話やメールからご予約ください。

予約の際に以下の5項目をお知らせください。

- | | |
|---------------|--|
| ① お名前(匿名可) | ⑤ 希望の相談形態(選べる 3 つの方法) |
| ② 会社名もしくは登録番号 | ☐ 出張面談(全国どこでも希望の場所) |
| ③ ご相談内容の概要 | ☐ 相談室面談(東京青山一丁目もしくは大阪梅田) |
| ④ 希望相談日時 | ☐ オンライン相談(Microsoft Teams 利用) |
| | ※契約条件により選べる相談形態は異なります。 |

TEL: 0120-783-744

月曜～金曜 10:00～20:00 土曜 10:00～18:00 ※祝日除く

Mail: sodan@humanfrontier.co.jp



相談内容や利用者のお名前は企業には決して伝わらない「プライバシー保護」となっておりますので安心してご利用下さい。
また、弊社の個人情報の取り扱いに関しては下記 URL にあります「個人情報保護方針」に従い運用しております。

URL: [プライバシーポリシー](#) | [MBK Wellness 株式会社](#)